



DNAで選んだ！病虫害に強い豆類新品種

黄化病にかからない金時「十育B78号」

特性

金時優良品種の「福勝」にインゲンマメ黄化病抵抗性を導入した品種です。

インゲンマメ黄化病には罹病しないため、本病に対する薬剤防除は不要で、減収しません。

粒色は「福勝」よりもやや淡いが同系色で、粒形、粒大は「福勝」に類似します。



「福勝」 「十育B78号」

接種検定における成績
(十勝農試病虫科、H19-21年平均)

	黄化病発生率 (%)	抵抗性
十育B78号	0.0	極強
福勝	82.5	弱
大正金時	67.8	弱

黄化病無防除栽培での成績
(鹿追町現地ほ、H19-21年平均)

	黄化病発生率 (%)	病株込子実重 (kg/10a)	福勝対比 (%)
十育B78号	0.0	298	120
福勝	19.4	248	100
大正金時	15.2	242	98

子実の外観



「福勝」

「十育B78号」

「大正金時」

成熟期、収量性等は「福勝」とほぼ同等です。

加工適性は「福勝」と同程度です。

十勝農試における成績 (H19-21年平均)

	成熟期 (月日)	倒伏程度 (0無~4甚)	茎折れ個体率 (%)	草丈 (cm)	莢数 (莢/株)	子実重 (kg/10a)	百粒重 (g)	品質 (等級)
十育B78号	9.10	0.5	0.4	56	16.5	331	91.0	2下
福勝	9.10	0.6	0.4	55	16.5	322	88.8	2下
大正金時	9.6	0.7	0.0	53	17.2	305	73.5	2下

製品試作試験における「福勝」に対する評価

製品名	業者名	年産 (平成)	総合評価
甘納豆	A社	20	同等
		21	同等
	B社	20	同等
		21	同等
煮豆	C社	20	やや優る
	D社	19	同等
	E社	20	同等

普及見込み地帯および面積

北海道のいんげんまめ作付け地帯において、「福勝」に置き換え 2,600ha (平成27年) の普及見込み

栽培上の注意

- 「福勝」と同様に大粒であるので、収穫・乾燥条件に留意し、損傷粒の発生を防ぐ。
- 極端な多肥または疎植栽培は、「福勝」と同様に茎折れの発生が多くなることが懸念されるため、避ける。
- インゲンマメ黄化病に対する防除は不要であるが、その他の病害には従来品種と同様に罹病するため、適切な防除に努める。

北海道立十勝農業試験場 作物研究部 小豆菜豆科
 住所: 北海道河西郡芽室町新生南9線2番地
 電話番号: 0155-62-2431
 e-mail: seika@agri.pref.hokkaido.jp